

### 岩石薄片製作実習

計147名

期間：平成16年4月5日，4月7日，4月8日

場所：理学部 特殊加工技術開発室 光学系試料  
製作部門 学生実習室

主催：理学部 地球惑星システム学科

内容：岩石薄片の基礎的な製作方法（岩石の切  
断・貼付・研磨等）の実習，および機械・  
器具等の取り扱い方法についての安全教  
育を行った。また，製作中に起こるケガ等  
は過去の事例に基づいてその都度説明を  
行った。なお，技術センター職員（石佐古  
早実）が実習指導を担当した。

参加者：学生28名

### 放射線業務従事者に対する教育及び訓練 （新規教育）

期間：平成16年4月12日，4月16日，5月  
10日，5月17日，5月19日～20日，  
8月9日，9月13日，11月8日，11  
月26日，11月29～12月1日，平成  
17年1月17日

場所：自然科学研究支援開発センター 放射性同  
位元素研究支援分野講義室L107号室

主催：広島大学自然科学研究支援開発センター

内容：放射線業務に従事する前又は管理区域に立  
入る前に行うもので，6時間以上の教育訓  
練が義務付けられている。内容は，放射線  
の人体に与える影響，放射性同位元素等の  
安全取扱い，放射線障害防止法，放射線障  
害予防規程の4項目が規定されている。講  
師は中島覚 助教授（大学院理学研究科，  
放射線取扱主任者），稲田晋宣 助手（自然  
科学研究支援開発センター），松嶋亮人 助  
手（自然科学研究支援開発センター），木  
庭亮二 技術員。また，技術センター職員  
（木庭亮二，寺元浩昭）は指導スタッフと  
して参加。

参加者：教職員，学生，大学院生，研究員など合

### 放射線業務従事者に対する教育及び訓練 （継続教育）

期間：平成16年4月21日，5月10日，5月  
19日，6月14日，7月12日，9月  
6日，9月13日，10月18日，11月  
8日

場所：自然科学研究支援開発センター 放射性同  
位元素研究支援分野講義室L107号室  
（4月21日開催分は理学部E102講  
義室）

主催：広島大学自然科学研究支援開発センター

内容：継続者においては立入り後1年を超えない  
期間ごとに教育訓練を行う必要がある。放  
射線取扱主任者が十分な知識及び技能を  
有していると認められた者については，項目の  
一部又は全部を省略することが可能とな  
っており，一部を省略した形で実施した。  
講師は中島覚 助教授（大学院理学研究科，  
放射線取扱主任者），木庭亮二 技術員。ま  
た，技術センター職員（木庭亮二，寺元浩  
昭）は指導スタッフとして参加。

参加者：教職員，学生，大学院生，研究員など合  
計324名

### 放射線業務従事者（新規）のための教育訓練

期間：平成16年4月28日，4月30日，5月  
12日，5月14日

場所：原爆放射線医科学研究所 講堂ほか

主催：原爆放射線医科学研究所 放射線管理室，  
医学部 RI研究共同施設

内容：新規に放射線施設に立入ることになる者に  
対して，法令で定める教育訓練を科目の一  
部については医学部と共同で行った。講師  
には自然科学研究支援開発センターの中  
島 助教授および稲田 助手にお願いし，ま

た、各施設の教員および技術職員（北川和英、菅慎治、竹岡清二）も各科目についての講義を行った。

参加者：教員、職員、大学院生など計19名

#### 放射線業務従事者に対する教育及び訓練

期間：平成16年4月28日、5月12日、5月17日～5月21日、6月4日、6月14日、6月17日、6月22日、6月23日、6月30日、12月14日

場所：医学部第5講義室、医学部第1講義室、医学部歯学部R I 研究共同施設

主催：医学部歯学部R I 研究共同施設

内容：放射線障害防止法で義務付けられている教育及び訓練。内容は、放射線の人体に与える影響、放射線障害防止法、放射性同位元素等の安全取扱い、放射線障害予防規程で、教育及び訓練の時間数は6時間以上となっている。技術センター職員（辻村智隆）が講師及び指導スタッフとして参加。

参加者：教職員、医員、大学院生、研究生など約450名

#### 分析機器利用講習会

期間：平成16年5月10～14日・19日～20日

場所：自然科学研究支援開発センター 物質科学研究支援分野物質科学機器分析担当

主催：自然科学研究支援開発センター 物質科学研究支援分野物質科学機器分析担当

内容：教職員・学生を対象に、基本的な機器分析技術の習得を目的として、自然科学研究支援センターに設置している分析機器（超伝導核磁気共鳴装置・高分解能透過型電子顕微鏡・電子プローブマイクロアナライザーなど）の操作方法および分析の具体例を紹介した。技術センター職員2名（藤高仁、

柴田恭宏）が指導スタッフとして参加した。  
参加者：教職員、大学院生および学部生 73名

#### 廃液回収システムの変更に伴う説明会

期間：平成16年5月20日、9月17日、10月15日、11月26日、12月21日

場所：工学部、理学部、医学部、生物生産学部、総合科学部

主催：中央廃液処理施設

内容：廃液を排出する教職員及び学生を対象に、廃液回収システムの変更に伴う説明会を各学部にて実施した。新システムは、排出者の利便性を高めるとともに、消防法等の法令を重視したシステムとした。技術センター職員（坂下英樹）は中央廃液処理施設教員とともにその新システムの開発に携わった。

参加者：教職員、大学院生及び学部生 各学部50～100名程度

#### 大学院工学研究科天井クレーン保守点検講習会

期間：平成16年6月8日

場所：工学部管理棟 大会議室

主催：大学院工学研究科 環境保全・安全衛生委員会

内容：工学部内のクレーン運転・保守点検を行う教職員を対象に、クレーン等による労働災害を防止するため、クレーン等安全規則に基づいたクレーン保守点検に関する講習会を開催した。技術センター職員（清水高）がクレーン保守点検の概要について説明を行った。

参加者：28名

#### 臨床検査技師学生解剖実習

期間：平成16年7月23日

場所：解剖センター2階小実習室  
主催：広島医学技術専門学校  
内容：平成16年9月に広島医学技術専門学校（臨床検査技師養成校・廿日市市）の2年生に対し解剖見学実習を行ったが、それに先立ち、解剖学講義にて合格点に満たなかった学生に対し、実習に必要な知識の補講を要請された。第一解剖 青山 教授の許可の元、解剖センターにおいて人体標本を観察しながら講義を行った。当日は山下 助教授（第一解剖）にご挨拶、立会いを頂き、講義と実習は技術センター職員（中谷宣弘）が行った。  
参加者：広島医学技術専門学校2年生3名

#### 実用ガラス細工実習

期間：平成16年8月2日～6日  
場所：理学部等特殊加工技術開発室 2F  
（ガラス素材応用部門）  
主催：技術センター理学部等部門  
機器・試料製作技術班  
内容：実験に使うガラス器具の簡単な改良や修理など実用的なガラス加工技術の習得を目的とし、基礎となるガラス細工の実習講座を開催した。技術センター職員（南治志、新谷博志、佐藤勇、藤原雅志）が実習指導にあたった。  
参加者：教職員、大学院生および学部生31名

#### 安全衛生講習会

期間：平成16年8月26日  
場所：理学部 E002講義室  
主催：技術センター  
内容：技術センター所属職員を対象に、快適な職場環境の形成促進及び災害や健康傷害を未然に防ぐ為の予防対策として、安全衛生に対する問題解決に向けての5S活動（整

理・整頓・清潔・清掃・躰）等を中心に、民間企業で実際の問題解決に携わってこられた講師をお招きして、講習会を開催した。（講師：塚本隆 氏、中電工技術短期大学校）

#### RIセミナー（四研究科合同セミナー）

期間：平成16年9月28日、平成17年1月17日  
場所：自然科学研究支援開発センター 放射性同位元素研究支援分野  
主催：自然科学研究支援開発センター 放射性同位元素研究支援分野  
内容：様々な分野での放射線及び放射性同位元素を利用した実験手法や研究内容を教職員や学生へ紹介するために、当分野主催の四研究科合同セミナーとして毎年行っている。平成16年度は上記の2回広島大学所属の教員と外部から講師を招き行われた。内容は以下の通りである。技術員（木庭亮二・寺元浩昭）は補助スタッフとしてセミナーの準備、当日の補助スタッフとして参加した。  
・平成16年9月28日開催分：蛍光X線分析の原理とその特徴を紹介するとともに、SPring-8を用いる生体組織中の微量元素分析、法科学への応用、HiSORを用いる廃プラスチック中塩素の分析など様々な応用事例等について講演がなされた。講師：早川慎二郎 助教授（大学院工学研究科）。教職員、院生、学生など23名参加。  
・平成17年1月17日開催分：実験手法としての質量分析の基礎及びタンパク質解析への応用について講演が行われ、具体的な実験機器の紹介、サンプルの精製法及び使用方法について講演がなされた。講師：泉俊輔 助教授（大学院理

学研究科), 日本ミリポア株式会社. 教職員, 院生, 学生など17名参加. (約40名)

### 看護学生解剖生理学実習

期間: 平成16年11月23日  
場所: 解剖センター3階実習室  
主催: 山陽女子看護学校  
内容: 洲崎 講師が山陽看護の解剖生理学を講義しておられる関係で, 看護学生の解剖実習を解剖センターにて行った. 看護師として必要な人体の構造を, 実際に標本を手にとって学習することにより教科書では分かりにくい立体的構造や重さ, 大きさなどが実感できる. 当日は技術センター職員(中谷宣弘)が講師のひとりとして学生の指導に当たった.(講師: 洲崎 講師(第二解剖), 青山 教授(第一解剖), 里田 助教授(歯学解剖), 隅田 教授(広島国際大学), 佐藤明直 先生(元第一解剖講師), 医学部2年生の有志数名)

参加者: 看護学生約80名

### 医学部総合薬学科学生解剖学特別実習

期間: 平成16年11月23日  
場所: 解剖センター3階実習室  
主催: 洲崎悦子 先生(第二解剖学講師)  
内容: 薬学の学生が履修する「解剖生理学」の補講として, 実際に献体や臓器を手に取り, その構造を視覚的かつ立体的に把握できる. 祝日に参加希望学生が集まり実習を行った. 技術センター職員(中谷宣弘)が講師のひとりとして学生を指導した.(講師: 洲崎 講師(第二解剖), 青山 教授(第一解剖), 里田 助教授(歯学解剖), 隅田 教授(広島国際大学), 佐藤明直 先生(元第一解剖講師), 医学部2年生の有志数名)

参加者: 医学部総合薬学科2年生の実習希望者

### 大学院理学研究科附属臨海実験所 公開臨海実習

期間: 平成17年3月7日~12日  
場所: 大学院理学研究科附属臨海実験所  
主催: 理学部  
内容: 全国の理学系大学生(2年次生以上)・大学院生を対象に, 全国各地で行われる臨海実習を通して多種多様な海洋生物の分類学, 生態学, 発生学, 生理学, 生化学等の知識や技術を提供する. 大学院理学研究科附属臨海実験所では, 頭索動物ナメクジウオ, 尾索動物カタユレイボヤ, 棘皮動物イトマキヒトデの発生を観察した. さらにナメクジウオ胚の遺伝子発現解析, 魚類培養細胞への遺伝子導入, 電気泳動によるスジキレボヤのタンパク質分離を行った. この実習には技術センター職員(山口信雄)がスタッフとして参加した.

参加者: 8名(大学院生1名, 学部生7名(全て他大学))

### 放射線業務従事者(継続者)のための教育訓練

期間: 平成17年3月23日  
場所: 歯学部第五講義室  
主催: 原爆放射線医科学研究所 放射線管理室  
内容: 新年度においても放射線施設に立入る予定の者に対し, 教育訓練を行う. 講師には当研究所の宮川 教授のほか, 自然科学研究支援開発センターの中島 助教授をお願いして行う. 技術職員(北川和英, 菅慎治)が指導スタッフとして参加した.

参加者: 教職員, 大学院生 約80名